

科目名称	ボランティア実践II				ビジネス・キャリア	(○)	オフィス情報	(○)	
英文科目名称	Volunteer Studies II				グローバル・コミュニケーション	(○)	医療事務・医療秘書	(○)	
科目コード	534120	授業形態	実習	単位数	2				
教員氏名	海野 るみ		年次配当	2年次	通年	ホテル・観光	(○)	大学編入	(○)
実務経験教員担当	(有)・無		アクティブラーニング		(有)・無				
授業概要及び授業方法	<p>この授業では、ボランティアに関する基礎的な知識を学ぶと共に、ボランティア活動の実践に向けたスキルやコミュニケーション力の向上を図り、実際の現場で実践を行います。</p> <p>受講生は、次のような学びを得ることを期待しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ボランティア」概念や歴史的背景、日本社会におけるボランティアの展開等について理解する ・個々が「どのようにボランティアと関わっていくのか」を考え実践する基盤を身につける ・「支援する・される」の二分化や、ボランティア行動の日常化について考える機会とする <p>常に受講生が主体となって、授業内外での実践的な活動を行っていきます。チームワークやリーダーシップを経験的に学ぶ場となります。</p>								
関連する科目	ボランティア実践I				卒業認定(学習成果)との関連		①～⑥		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション：授業の目的、内容、ルール等の説明、Q&A 2. 「ボランティア」って何だ？：「ボランティア」の概念、歴史的背景を理解する 3. 日本社会とボランティア：日本におけるボランティアの展開と課題を理解する 4. 様々なボランティアの現場①：多様なボランティアの現場があることを理解し社会の課題を考える 5. 様々なボランティアの現場②：多様なボランティアの現場があることを理解し社会の課題を考える 6. 大学生とボランティア：大学生によるボランティア活動の展開と目的や意義、問題点を理解する 7. ボランティア活動の始め方 8. 企画案を作ってみよう！ 9. ボランティアの現場から①：ゲストスピーカーとの対話 10. ボランティア活動(A)の企画と準備①(グループワーク) 11. ボランティア活動(A)の企画と準備②(グループワーク) 12. ボランティア活動(A)の企画と準備③(グループワーク) 13. ボランティアの現場から②：ゲストスピーカーとの対話 14. 報告書の書き方と報告準備(グループワーク) 15. 報告会：前期の企画・活動報告とまとめ 16. オリエンテーション：前期の振り返りと後期授業の内容確認 17. 地域社会とボランティア：地域社会におけるボランティアの展開と問題点を理解する 18. 宮崎の／とボランティア①(グループワーク) 19. 宮崎の／とボランティア②(グループワーク)：ポスターセッション 20. ボランティアの現場から③：ゲストスピーカーとの対話 21. ボランティア活動(B)の企画と準備①(グループワーク) 22. ボランティア活動(B)の企画と準備②(グループワーク) 23. ボランティアの現場から④：ゲストスピーカーとの対話 24. ボランティア活動(B)の企画と準備③(グループワーク) 25. ボランティア活動(B)の企画と準備④(グループワーク) 26. 報告会の準備①(グループワーク)：活動報告のプレゼンテーションと報告書作成 27. 報告会の準備②(グループワーク)：活動報告のプレゼンテーションと報告書作成 28. 最終報告会① 29. 最終報告会② 30. ディスカッション：この学びを次に生かすために 								
授業時間外の学習	<p>この授業は、活動に参加し実践することを重要視しています。そのため、授業時間外のボランティア活動への参加による学習時間が必要となります。併せて、グループワークのメンバーと一緒に学習(企画や準備)する時間も必要となりますので、予め留意して履修してください。それに伴う、自主学習の時間も必要となると思われます。これらを合わせて、概ね週平均2～3時間(企画の内容や段階によって、週による差が出てくるものと思われる)の授業時間外の学習が必要だと考えてください。</p>								
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・資料や文献調査、聞き取りなどを通して、ボランティアの現状を把握できる ・現状を把握した上で、社会的な問題を見つけ出し、ボランティアの実践へと展開できる ・チームを組織し、ボランティア活動を企画、運営する方法を理解する ・必要に応じて、自らボランティア活動を企画、運営できる ・実践や活動の記録を作成し、報告することができる 								
課題に対するフィードバック	担当教員は常に受講生との連絡に努め、質問や問題点については迅速に解決できるようフィードバックします。				評価方法・基準		コメントペーパー：47点 グループワークと成果：34点 報告書成果：20点(101点満点) *評価方法の詳細は初回授業で説明します。		
テキスト	特に指定しません。必要な内容の説明や資料は、レジュメや資料として授業時に配布します。								
参考書	特に指定しません。必要に応じて参考文献や資料等をレジュメに記載して配布します。								
備考	UNIPAを授業用ポータルサイトとして活用する予定です。週1回以上は、必ずチェックするようにしてください(特に授業の前日等)。								

